

平成27年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	竹原市立竹原中学校	校長氏名	亀井 伸幸	生徒指導主事氏名	島 博明
-----	-----------	------	-------	----------	------

取組事例名 『進路実現に向けた授業向上のルーブリック指標の作成』

取組のねらい 『キーワード：クラス全員でめざす姿をつくる』

- 1年生の進路学習の一環として、授業を大切にすることが進路実現につながることを生徒に促し、生徒自身がルーブリックの作成を通して主体的によりよい授業をつくろうとする意欲を育成する。

取組の具体的内容 『キーワード：生徒が考える』

- 高校入試の調査書などの仕組みについて事前に学習を行い、1年生の成績も大切であることを認識させた。そこで評価表をもとに成績はテストの点数だけではなく、提出物や授業態度なども評価の対象であることを認識させた。
- 個人、クラスで向上に向けて取組めることとして授業態度に焦点を絞り、「自分たちが考える望ましい授業とは」について生徒が発表した。

取組の課題・創意工夫 『キーワード：成長4段階』

- 生徒が発表した望ましい授業について「SABC」の4段階に分類し、ルーブリックの作成に取り組んだ。
- 生徒自身が分類することで、より具体的に自分たちの姿を見つめさせ、またクラスとして授業に対する共通の価値観をもたせることをねらった。
- 各クラスで作成後に学年として統一したルーブリックを代表委員会を活用して作成した。また、作成したものを学年集会で代表委員が1年生に伝えた。

評価	重点チェック（話すについて）
S	立って相手を見て、大きな声ではっきりと、 人の意見と関連させ発表する。全員発表。
A	立って相手を見て、大きな声ではっきりと、 発表する。いろんな人が発表している。
B	立って、大きな声で、発表する。 一部の人が発表。
C	座ったまま、小さな声で、勝手に発表。 発表しない。

望ましい授業に向けての確認票(11月17日～)

取組の成果（効果） 『キーワード：客観的に』

- 授業態度の具体的な姿等を4段階に分類したルーブリックを作成したことで、生徒自身が自分やクラスの状況を自主的に客観的に評価できるようになった。また、ルーブリックをもとに、教員とともに授業を振り返ることができ、授業態度の向上に向けて課題や成果を共有して取り組むことができた。

【1Aの考える 授業を大切にする「SABC」成長4段階】

S めっちゃ最高!!(^^)!

- 先生のほうをむいて話を聞く。
- 常に集中できる。
- 静かで、話をしっかり聞く。
- 切り替えができる!
- 職員室で「さすが1A!」といわれるようにする。
- 丁寧なノート
- みんなが発表する!
- 全員が真剣に授業を受ける。
- 授業がどんどん進む。
- 笑う時には笑うけど集中する時には集中!
- 手を挙げる人が多く静かで楽しい授業。
- 姿勢もイイ!
- 必要な時以外しゃべらない。
- 一つ一つの授業を大切にしている。



A すごいね!(*~*~)

- 話はしていないし、ノートをとっている。
- 私語をしていない。
- 誰かが私語をしていたら注意する。
- 話は少しあるが、全員ではなく声かけがある。
- 切り替えができる。

授業は1日6時間
↓
週間で30時間
↓
か月で120時間
↓
1年は1年だったら?
1の前の1時間の授業を大切にすること。
これが進路実現の1歩の近道です。



B いいね!(。~)

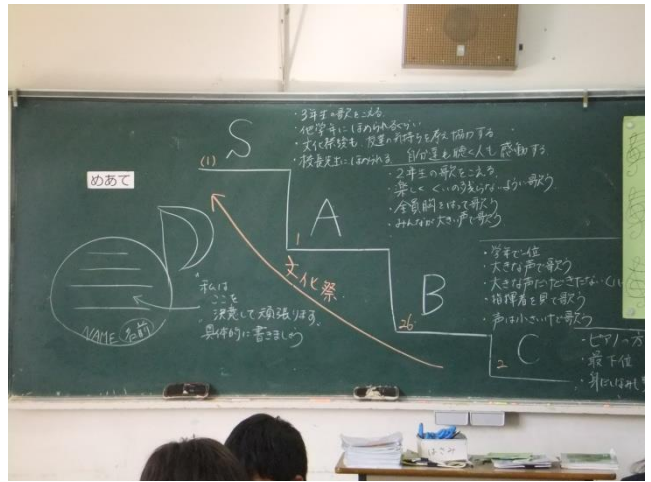
- 静かだが…イマイチ集中しきれていない。
- しゃべる人が少ない。少し私語が多くても切り替えはできる。
- 立ち歩きなし!

C よくない(;_ _)

- 私語が多い。
- 後ろを向いている。
- ノートをとらない。
- 人にちょっかいをだす。
- 先生の話を受けない。
- ペンで遊ぶ。
- 横座り。
- やる気なし。
- 注意されてもやめない。
- ふざける。
- 立ち歩く。
- うるさい
- 爆睡
- 先生やみんなから「1Aマジ授業態度悪い」といわれる。

今後の展開『キーワード:様々な場面で』

- ・ これまでも「文化祭での合唱コンクールに向けて」等、ルーブリックの作成に取り組んできた。今後は、さらに生徒が主体的に取り組めるように生徒会活動などでもルーブリックを作成し、生徒自身が学校をよりよくしようとする意識や行動を育成していきたい。
- ・ 2年生では、「時間を守る」について生活委員会、「挨拶」について代表委員会、「授業態度」について学習委員会が同様にルーブリックを作成していく予定である。



他校へのアドバイス『キーワード:自治的活動の充実』

- ・ 本校では、教員主導の指導から生徒の自治的活動による学校生活の向上に移行したいと取り組んでいます。本校生徒は、エネルギーがあることを生かし、生徒自らが考え、行動する場面を生徒とともに作り出して達成感、充実感を持たせていくことが学校の安定につながると考えています。